

第1回市原地域保健医療連携・
地域医療構想調整会議

令和6年8月7日（水）

議事 |
資料 |

医療機関毎の具体的対応方針について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室

電話番号：043-223-2457 メール：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp



「地域医療構想の進め方について【国通知】（H30.2.7）」

調整会議における具体的議論を促進するため、病院及び有床診療所に対して「具体的対応方針」の策定を、都道府県に対しては、毎年度、具体的対応方針を取りまとめ、地域医療構想調整会議で協議することが求められた。

【※具体的対応方針とは】

各医療機関が定める2025年を見据えた「構想区域において担うべき医療機関としての役割」や2025年に持つべき「医療機能ごとの病床数」等についての方針

調整会議における協議（H31.3）

● H31.3 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議開催

各病院等から報告のあった具体的対応方針について協議し、合意が得られた。

⇒その後、変更があった場合は、その都度協議を実施。

⇒ 具体的対応方針に変更があった場合は、引き続き協議をお願いいたします。

※千葉県ホームページから報告様式がダウンロードできます。報告に当たっては下記の様式を御使用ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

具体的対応方針の変更について（市原地域）



- 前回開催した市原地域医療構想調整会議以降、1 医療機関が内容変更報告。
※作成済の具体的対応方針の一覧表を更新
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、他の医療機関の方針も含めた地域の状況を確認しつつ、具体的対応方針に変更があった場合には、引き続き報告をお願いしたい。

○変更の報告のあった医療機関

	医療機関名（1 機関）
病院	①医療法人社団高原会原村医院

○当該圏域の病床機能の状況（R5.7.1）

（単位：床）

区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (R5.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						R5推計値 C	差し引き C-A	
市原	高度急性期	284	108	▲176	不足	154	▲130	不足
	急性期	826	1,512	686	過剰	1,046	220	過剰
	回復期	695	401	※▲294	不足	815	※120	過剰
	慢性期	335	217	▲118	不足	223	▲112	不足
	休棟等	-	48			48		
	計	2,140	2,286	146	過剰	2,286	146	過剰

※令和5年度の病床機能報告については、報告誤りにより回復期の病床が120床過大計上されている。



「地域医療構想の進め方について【国通知】（R5.3.31）」

- 都道府県は、毎年度、対応方針の策定率等を目標としたPDCAサイクルを通じて地域医療構想を推進すること。
- 目標については、対応方針の策定率が100%に達していない場合は、対応方針の策定率とする。
- 2023年度当初において、既に対応方針の策定率が100%に達している場合における同年度の目標及び2024年度以降の目標については、合意した対応方針の実施率※とする。

⇒本圏域は、令和5年度当初に具体的対応方針の策定率が100%に達しているため、合意した対応方針の実施率を目標としている。

【市原圏域の地域医療構想の進捗に係る目標値：**対応方針の実施率**】

実施率 R5年度末(実績)：89.5% ⇒ R6(目標)：96.5% ⇒ R7(目標)：100%
(県全体R5年度末 現状値：策定率 100%、実施率 79.7%)

※具体的対応方針と一致した機能別病床数となっている医療機関の割合。当医療圏では、17医療機関／19医療機関＝89.5%（R6.3.31現在）。

(参考) 今後の取り組みについて



今後の取り組みに関する工程表

取り組みの内容		2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度以降 (令和9年度以降)
具体的対応方針 について	変更	具体的対応方針変更の都度、調整会議において協議		状況に応じて協議	
	実施率の確認	策定済み医療機関については、2025年に向けて具体的対応方針を実施（実施が困難な場合は、変更			
非稼働病棟に関する協議 (該当病棟がある圏域)		非稼働病床調査に基づき、現状と今後の見通しについて協議			
新たな地域医療構想の検討・取組 (国において検討中)		国における検討・制度的対応		都道府県の策定作業	新たな構想に基づく取組



- 1. 2025年以降において担う役割や病床機能は、地域医療構想と整合的であるかどうか。**
- 2. その他、説明のあった変更の理由等については、地域医療構想に沿ったものであるか。**

以上の2点について御協議をいただきたい。

病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	医療法人社団 高原会
医療機関名	原村医院
所在地	市原市玉前 76
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）	○			○					○	○	
変更後（2025年）	○			○					○	○	
R0年見込み※											
その他の内訳及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

3 病床機能及び入院料

	変更前 (2025年)	変更後 (2025年)	R0年 見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	床	床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	15床	5床	床	
回復期	床	床	床	
慢性期	床	床	床	
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	床	床	床	
廃止予定	床	床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

周辺地域の状況として、入院機能を備えた施設が複数あること。当施設要因として、当直担当の看護職員確保が困難になりつつあること、入院後リハビリに対応する設備・人員を備えていない事、昨年度入院実績がなかったこと等により、病床返上が妥当と判断しました。今後は、帝京大学ちば総合医療センター移転後に周辺状況を鑑み、病床返上も含め検討していく方向です。

具体的対応方針一覧

【市原保健医療圏】

No.	医療機関名	2025年以降に担う役割（予定を含む）										2025年以降における機能別病床数					変更理由等					
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	計	休棟等	移行予定	備考
【病院】																						
1	独立行政法人労働者健康安全機構千葉労災病院	○	○	○	○	○	○	○	○					68	299	33		400			2022年3月予定（S-ICU、HCU） 2022年10月予定（緩和ケア病棟） 重症症例の受入体制の確保及び救急医療における地域貢献のため、 現行のICU（10床）からS-ICU（6床）・HCU（12床）へ機能拡張し、 高度急性期医療の強化を図っていく。 市原医療圏内に未設置である緩和ケア病棟について、圏内で唯一の地域がん診療連携拠点病院である 当該が緩和ケア病棟（33床予定）を設置することでがん領域の充実・強化を図り、地域の医療ニーズに対応して行く。	
2	千葉県循環器病センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	てんかんセンターによる包括的てんかん診療、ガンマナイフによる機能的脳外科治療、成人先天性心疾患診療及び精神療法、透析、市原・茂原・長生・山武各地区への地域医療の提供と診療連携感染症	20	187	0		207	13	・2023年変更 (変更前(R4第2回))高20 急147 回40 計207 ※休棟13				
3	医療法人社団琢心会辰巳病院	○	○	○	○	○				○					25	31	25	81			市原圏域は、急性期病床が過剰、回復期病床及び慢性期病床は不足。慢性期病床の減少分については、近隣の介護保険施設やサービス付き高齢者向け住宅及び、訪問系事業所との連携を図ることで対応可能と考え、不足している回復期病床を増床することとした。	
4	医療法人社団白金会リハビリテーション病院さらしな		○													120		120				
5	医療法人芙蓉会五井病院	○	○	○	○	○	○	○	○						106	74	34	214				
6	医療法人鎗田病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	呼吸器・消化器疾患にかかる手術、内視鏡検査、健康診断、		159		40	199		・2023年変更 (変更前(R4第2回))急146 慢53				
7	医療法人社団白金会白金整形外科病院	○	○	○	○	○				○				50	78		128			手術室の増改築を伴う病院の拡張工事を行い、整形外科手術を要する患者の受け入れ拡大や、地域包括ケア病床、救急受入体制、在宅医療体制等の整備を行う予定。		
8	医療法人社団千寿雅会長谷川病院	○				○								37			37					
9	医療法人社団緑祐会永野病院					○				○	内科一般		60			60						
10	帝京大学ちば総合医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○				20	407			427		48	・2024年変更 【変更前（R5第3回）】 高20、急407、休48		
11	医療法人社団健老会姉崎病院	○	○	○	○	○				○						99	99					
【診療所】																						

No.	医療機関名	2025年以降に担う役割（予定を含む）										2025年以降における機能別病床数					変更理由等					
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	計	休棟等	移行予定	備考
12	医療法人社団ゆうあい会やりたクリニック										○			19			19					
13	宗田マタニティクリニック										○			18			18					
14	医療法人社団高原会原村医院	○		○										5			5			・2024年変更 (変更前(R6第1回)) 急15	周辺地域に入院機能を備えた施設が複数あること、当施設において当直担当の看護職員確保が困難になりつつあること、入院後リハビリに対応する設備・人員を備えていないこと、昨年度入院実績がなかったこと等により、病床返上が妥当と判断。今後は、帝京大学ちば総合医療センター移転後に周辺状況を鑑み、病床返上も含め検討していく方向。	
15	医療法人社団三餘会五井レディースクリニック										○			13			13					
16	医療法人社団詠冴会市原整形外科						○							19			19			・2023年変更 (変更前) 回19		
17	医療法人社団慈協会市原メディカルクリニック	○		○										19			19					
18	医療法人社団産幸会飯島マサースクリニック										○			15			15					
19	有秋台医院										○			15			15			2022年4月1日に事業承継		
20	おもて内科糖尿病クリニック	○	○	○							○			19			19			2025年10月供用開始予定		